２年　道徳学習指導案（例）

１　主　題　名　みんなのものを大切に　４－（１）規則尊重・公徳心
※　資料：「きいろいベンチ」（東京書籍２年道徳副読本）

２　ね　ら　い　はっとした二人の男の子の気持ちを話し合うことを通して、他人への迷惑が想像できる人になることの大切さに気付き、みんなが使う物を大切にしようとする態度を養う。

３　準　　備　副読本　ワークシート　短冊黒板

４　学習の展開

学習活動・内容	予想される児童の反応	教師の支援
1　みんなで使う物を発表し合う。(10) ・公共物の具体 ・学習課題	○ボール、学級文庫の本、掃除道具、ブランコ… ○みんなで使う物がたくさんだ。大切にしてるかな。	◎たくさん出し合わせ、その多さを実感させる。 ◎簡単な自己評価を通して課題意識をもたせる。
（学習課題）みんなで使う物についての考えを深めよう。		
2　資料「きいろいベンチ」を読んで話し合う。(20) ○ベンチ上の二人の気持ち ・紙飛行機の楽しさ ・遠くに飛ばしたい ○女の子の気持ち ・汚れた悲しさ ・汚した人への憤り ○はっとした二人の気持ち ・自分たちのせいだ。 ・今度からはしない ○公共心の理解 ・私物との区別、他へ迷惑を想像する大切さ	○男の子の気持ち：「紙飛行機を飛ばすのは、楽しい。高いところからもっと遠くに飛ばそう。」等。 ○女の子の気持ち：「スカートがどろどろだ。だれが汚したんだろう。腹が立つなあ。」等。 ○最後気持ち：「自分たちのせいだ。悪かったなあ。今度からは、ちゃんと使うよ。ごめんなさい」 ○次の人、周りの人の迷惑を想像できる人になろう。	◎紙飛行機を飛ばす場面、ベンチに座る場面を役割演技させ、実感をもって理解させる。 ◎自分の公共心を表現させやすくするため ・男の子と女の子の心情をそれぞれ想像する ・最後の台詞を演技する ・自他の考えの異同を明確にする ・自分の経験と比較する 活動や問いかけを行い、板書で示す。
3　公共物を選び、自分の生活を振りかえる。(10) ・自分の振り返り ・公共心の高まり	○ぼくは○○の使い方がときどき～の場合があるよ。 ○私はこれからもちゃんとして人に迷惑をかけない。	◎導入で出した公共物から選択させ、他の人への迷惑を想像し、使い方を自己評価させる。
4　教師の話を聞き、友達のよさを発表する。(5) ・公共物を大切にしようとする態度 ・友達の学びのよさ	○先生は、◇◇をしたいと考えているようだけど、ぼくは△△が一番だな。 ○私は▽▽君が言ったことがすごく心に残ってるよ。	◎学習内容を印象的にまとめ、生活に生かすよう励まし意欲を高める。 ◎友達のよさを想起させ、受容的態度を高める。